

どのような時代においても、法曹としての基本的な資質・能力は変わらないものの、時代の変化や地域を含めた社会からの要請も踏まえ、法科大学院が有する特色・魅力を最大限生かした、より発展的・先端的な教育を実施していくことが期待されている

(第12期の審議のまとめ「法科大学院教育への期待」を要約)

## 教育の質向上の取組に係る評価

- ◆ 法科大学院教育の質向上と特色・魅力の伸長を両立させるためには、①取組、②アウトプット(活動量)、③アウトカム(社会に生み出される価値・変化)を総合的に勘案し、評価していくことが重要
- ◆ 特に、各法科大学院が社会からの期待に応え、役割を果たしていることを社会的価値として共有するためにも、教育成果である「アウトカム」評価を重視することが必要不可欠

### <取組の一例>

取組(例)	インプット・アウトプット(例)
特色のある教育 (グローバル・先端etc.)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特色あるプログラムの提供数</li> <li>● 企業等との連携・共同研究数</li> <li>● 留学者数</li> <li>● 海外大学との協定数</li> </ul>
地域で活躍する 法曹人材の養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地方事務所とのエクスターンシップ連携数</li> <li>● 地域に根差した課題に取り組んだ学生数</li> </ul>
研究者養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 博士後期課程への進学者数</li> <li>● 大学教員による指導実績</li> </ul>



### アウトカム(例)

- 学生の高い満足度や成長実感を示すデータ
- 直接評価、間接評価を適切に組み合わせ、学生が **DPに示された資質・能力を身に付けていること** を明確に示すデータ
- 学生の就職状況、進学率、専門分野の進路と高い関係性があるかなど、 **DPに沿った人材輩出** を示すデータ
- 企業アンケート等を活用した **卒業生の活躍状況や人材育成の社会への貢献** に関するデータ

(「新たな評価」制度の在り方について(案)  
(教育・学習の質向上に向けた新たな評価の在り方ワーキンググループ))

### <主にご意見いただきたい点>

- 上記の他に評価すべき法科大学院の取組はあるか。
- それぞれの取組においてどのような「アウトカム」が生じていることを評価すべきか(上記もしくは上記以外)

インプット

アウトプット

アウトカム

目指すべき  
各法科大学院の姿